



2026 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 ミ ト ラ グ ル ー プ 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 成 宮 正 一 郎
(コード番号：6093 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役 管理本部担当 太 田 昌 景
(TEL. 03-6703-0500)

2027 年 2 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026 年 4 月 3 日に公表いたしました 2027 年 2 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と、本日公表の実績との差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027 年 2 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異

(2026 年 3 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回公表数値 (A)	百万円 2,872	百万円 130	百万円 128	百万円 87	円 銭 2.00
今回実績 (B)	2,605	159	155	120	2.76
増減額 (B-A)	△266	28	26	33	
増減率 (%)	△9.3	22.1	20.8	38.2	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2026 年 2 月期第 2 四半期)	2,368	159	158	126	2.90

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間においては、金融ソリューション事業における信託サービス及び不動産ソリューション事業における不動産オークション取引が前年を上回ったほか、建築ソリューション事業においても、建築事業者からの敷地調査業務の受託件数及び設計サポートサービスが前年同期を上回りました。一方で、不動産ソリューション事業における「H' OURS」のサービス利用件数が前年を下回ったほか、不動産オークション取引の一部案件が下半期へ期ずれしたこと、また、建築ソリューション事業においても一部サービスの取扱い件数が想定を下回ったこと等により、売上高は予想数値を下回りました。利益面においては、前連結会計年度末に計上した一部の取引先に対する貸倒引当金について、相手先の経営状況及び財務状況を踏まえ回収可能性を見直した結果、貸倒引当金繰入額の戻入等により、公表予想を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、下半期における各事業のサービス利用件数等に影響を及ぼす市況動向等を引き続き注視する必要があると同時に、新たな受託業務の開始や、不動産オークション取引において上半期からの期ずれ案件の進捗も見込まれることから、前回公表数値を据え置いております。

以 上